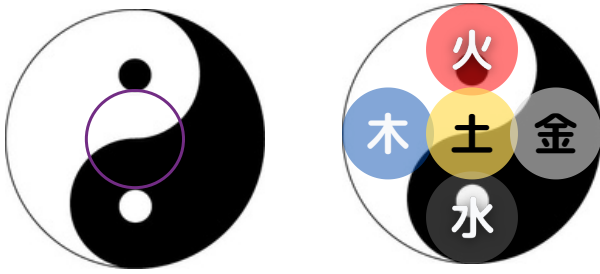


陰陽説が全ての始まりでこれをもとに五行説へと発展していくものです。陰陽説の世界観では、万物は陰と陽に代表される対立する、あるいは対照的な概念、事象のバランスで成り立っています。男女、寒暖、善悪、光と陰、交感神経と副交感神経の関係性もそうでしょう。そしてそのバランスは一定ではなく流動的。陰が極まれば陽に転じ、次に陽が極まればまた陰に転じ、これを繰り返します。1日でも日が昇りまた沈み、潮が満ちては引く、その様も陰陽というわけです。

ここから五行説、つまり木火土金水が誕生していくわけですがそれはまた別の機会に。



ウクライナでの紛争が一月以上経過していく中で、紛争前から情勢を注目していました。いよいよ侵攻となった時にこの時代で戦争が起こることの虚しさに押しつぶされそうな自分がいました。

しかし日々、受講生に指導しているこの陰陽説が私に物を見る目を養わせてくれ、また陰陽五行思想が生き抜いてきた5000年近いときの流れの中で起きた数々の戦争、紛争、虐殺、陰謀を思うと人の世の儚さ、愚かさを感じると共にそこを生き抜いてきた陰陽五行思想の強さを感じました。

自分が今、これをこの時代だからこそ人々に伝える意義も強く強く感じた機会になりました。

普段の気質診断では五行説の方に力を入れていますが、全ての基本はやはり陰陽です。人生もそう。完全に悪人、完全に善人がいないように、自分の心も善悪が入り乱れた物です。それでいいのです。そう思うと、対する他人も同じ。完全に善人や悪人は存在しません。そして互いの関係性も同じ、100%の友情や愛情など存在しないものなのです。

ただし人はともすれば自分にも完全を求め、相手にも完全を求め、関係性にも完全を求める傾向があります。これはピンチを招き、許し合うことを否定します。私自身、離婚を経験していますが離婚の前後は相手の不完全さ、そして関係性の不完全さにばかり注目し、離婚することがそこから解放される唯一の方法のように考えていたかもしれません。再婚した今、自分も相手も、そして結婚関係そのものも陰陽のバランスで成り立っているとしみじみ感じています。

また以前、華やかな国際女性ビジネス会議に講師として呼ばれた時、実際は経営が大変な状態で金銭的にピンチに陥っていました。自分を奮い立たせて上京し、華やかな講師控え室で著名人と並び過ごす様子をSNSに挙げたところ、長年の起業家仲間だと思っていた友人から「自分ばかり調子に乗って。私の新店舗の工事は絶対にあなたに依頼しない。タウンページを探してでも他の業者に頼むから（当時私は建設業を営んでいました）」と言い捨てられた経験があります。一方、そんなに華やかな活躍の裏には、きっと深い苦労があるだろう、光があれば影も強くなる。体に気をつけるようにと労ってくれる方もおられました。何も事情は話していないのに、その方の洞察力と言葉に涙が出たものです。

今回のウクライナの紛争も、ロシア側にも正義があり、ウクライナ側にも不正や悪が存在しているのではないのでしょうか。一方的なロシア＝悪、加害者、ウクライナ＝善、被害者ではないことも知ることが大切です。

マスコミなどでは善悪を分けて報道するような傾向がありますが、どの場合も陰陽であると感じる目や心を養うことが大切です。

光に惑わされず、影に怯えず、真実を捉えるために、常に陰陽を意識してみてください。

私たちの日々の暮らしの中でも、相手に完全を求めたり、関係性に完全性を求め、イライラしたり傷付いたり、前に進めなくなることがあります。

その時も是非、全ては陰陽と自分に語りかけてみてください。そして光があれば影もある。良いことで調子に乗って奢らない心、悪いことがあってもそこから立ち上がり経験値を強みに歩む心を持ち続けて欲しいと思います。良いことばかり、悪いことばかりも続きません。これも陰陽ですね。

陰陽説こそが全て、人生の強い指針にしてください。